

# 飯南高校へご支援のお願い

地域の皆さん、同窓生の皆さん、飯南高校に関わってくださっている皆さん、県外生徒の地方留学の実現と学校の活性化に取り組み、地域の生徒や県外の生徒に選ばれる学校づくりのため、皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

目標金額は2022年8月末までに1,500,000円  
皆さんからご支援いただいたお金は3つの取組みに使用します



地域みらい留学で生徒を募り  
飯南・飯高の良さに触れてもらい  
他県にも地域の魅力を発信!

人口減少や少子高齢化が進む中山間地には、魅力的な教育環境があり、親元を離れて地域の歴史や文化に触れ、地域とかわりながら学びを深めることは、多様な価値観や能力の醸成につながると考えられています。みなさんのご支援で一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム※に参加して、飯南高校に県外留学生を募集します。



生徒や教師が未来にドキドキし  
自分が将来できそうなコトに  
ワクワクする学校を実現したい!

飯南高校が目指す「地域を学び場とした課題解決型キャリア教育の実践」により地域の次世代を担う人材を育成するためには、飯南高校の学びの質をさらに高めていく必要があります。みなさんのご支援でカリキュラム開発の専門家等を招聘し、より魅力的な授業づくりを行います。



空き家片付け、ラテアートなど  
学生が実現したいことを  
みんなで一緒に応援したい!

飯南高校の生徒は積極的に地域活動に参加しています。空家片付けプロジェクトや深蒸し煎茶ラテアート、道の駅プロジェクトなど、地域の人たちとかわりながら、地域の資源を活かしたり、地域課題を解決したりする活動を通じて学びを深めています。みなさんのご支援で生徒の地域活動をより良くするためのサポートを行います。

ご支援は「クラウドファンディング」or「現金」で受け付けます

事務局  
おすすめの  
支援方法!

クラウドファンディングで  
ホームページから  
直接支援する

クラウドファンディングのサービス「キャンブファイヤー」の特設ページにアクセスしていただき、クレジットカードなどを使用して決済できるので非常に便利です。



※一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームとは

「意志ある若者にあふれる持続可能な地域・社会をつくる」というビジョンを掲げ、2017年3月に島根県に設立した教育事業団体。代表理事の岩本悠は、2007年より隠岐島前高校の魅力化を推進し、2018年には地域みらい留学を立ち上げ、全国の公立高校で高校魅力化を進めています。現在は、島根県教育魅力化特命官、内閣府総合科学技術・イノベーション会議、文科省中央教育審議会、経産省産業構造審議会の委員等も務め、人づくり・教育改革に取り組んでいます。認定NPO法人カタリバ代表理事・今村久美、リクルートキャリア初代社長・水谷智之、地域みらい留学事業責任者の尾田洋平も理事として、各分野での経験と実績を活用しながら、地域の教育から社会を変えることを目指しています。  
(団体ホームページ) c-platform.or.jp

ご不明点は  
事務局まで

Tel.0598-32-2511

【受付時間】 土日祝・年末年始を除く平日9:00-17:00  
【事務局】 飯南高等学校同窓会/松阪市飯南地域振興局

または

飯南・飯高の振興局や  
住民自治協議会から支援する

窓口：2022年6月15日～8月31日まで

飯南・飯高地域の住民自治協議会や、飯南地域振興局・飯高地域振興局内に、支援金を持ち込める窓口を設置しました。一度事務局にお電話いただいてから窓口にお越しいただくとスムーズです。

支援金の受け付け窓口の一覧

飯南地域の受付場所

- ・飯南地域振興局
- ・柿野出張所
- ・有間野区住民自治協議会
- ・粥見住民自治協議会
- ・仁柿住民自治協議会
- ・柿野住民自治協議会

飯高地域の受付場所

- ・飯高地域振興局
- ・川俣・森・波瀬出張所
- ・宮前まちづくり協議会
- ・川俣住民自治協議会
- ・森住民自治協議会
- ・波瀬むらづくり協議会

飯南高校へご支援のお願い

# これからの飯南高校を みなさまとともに

少子高齢化を迎えていることで学校の統廃合が進む中、飯南高校は地域のみなさまに支えられてきたからこそ全国から注目される中高一貫教育を築くことができました。

県内から生徒を募集してもっと学校の魅力を知って欲しい。県外から生徒を募集してもっと地域を盛り上げたい。

地域と一緒に取り組んで来た飯南高校の活性化。この取組みを通じて飯南・飯高をさらに良い街にしたい。その願いを込めて、みなさまにご支援のお願いです。



高校生の未来と  
地域の将来は  
つながっている。

# 飯南高校のこれまでの取り組み

飯南高校の歴史の中で8千人以上の生徒を社会へ送り出してきました。地域を担う多くの生徒を送り出してきた飯南高校は私たちの地域の宝で、数多くの人材を育てる学校として今後も存続していくことを願っています。そのために私たちは地域を挙げてより良い学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。



## 平成11年にはじまった 飯南高校の魅力のひとつ 中高一貫教育

飯南高校の魅力のひとつに「飯南中・飯高中との中高一貫教育」があります。平成11年にはじまった取り組みで、中学校と高校の学びがカリキュラム化され、中学校での学びをさらに高校へ行って深めていくことができる学びの形です。学びをより深めていくため令和元年から3年度までの3年間、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の採択を受け、専門家や地域の皆さんの力を借りながら、カリキュラムの充実を図るとともに、生徒たちが地域に出て地域の課題を探究する学習活動などを行ってきました。



## いいなんゼミやラテアート 生徒の主体性が光る活動は 全国からも注目を集める

「飯南中・飯高中との中高一貫教育」の成果もあり、飯南高校での3年間の学びを発表する「いいなんゼミ」には生徒の成長がはっきり表れます。生徒たちの成長の足跡は、主体的な活動である「応援団Circle」をはじめ「緑茶ラテアートの活動」や「秋の夜空を彩る花火」「ハナノコンサート」などの地域に根差した活動からもうかがい知ることができます。これらの活動は、様々なメディアで取り上げられ、注目を集めています。



## 県外の生徒も応援する為に 下宿先を地域と一緒に作る 「地域みらい留学」

「地域みらい留学」とは、主に都市部から地方の高校へ生徒を呼び込むという事業です。生徒たちが地域で暮らしながら、その地域の自然や文化、地域の様々な人たちとかわることで、飯南・飯高地域が将来の就職や生活の拠点の選択肢の一つとなり、移住・定住あるいは関係人口として地域とつながる人材を育てていく事業です。

## 卒業生から応援メッセージ



飯南高校は  
本当の自分や  
素敵な仲間と  
出会うことが出来る  
素晴らしい学校

飯南高校や飯高・飯南地域には本気で学生と向き合ってくれる面白い大人が沢山います。私も高校時代に関わった沢山の方のおかげで自分の「やりたい」「楽しい」と思えることに出会えました。飯南高校は本当の自分や素敵な仲間と出会うことが出来る素晴らしい学校で、地域やこれからの若者にとって必要不可欠です。ご支援のほどよろしく願いいたします。

大正大学地域創生学部3年生 / 平野彩音さん

## 教育現場からの応援メッセージ



誰もが探究を通して  
輝けることを  
飯南高校の生徒は  
教えてくれます

高校時代の3年間、固定観念が染み付いた教員から「オマエ達には探究なんか無理なんだ」という視線のシャワーを浴び続けるのか、それとも学校の内外で「誰もが探究を通して輝けるんだ」という視線のシャワーを浴び続けるのか。その差が、本人や地域の未来、そして先生方ご自身の毎日に、どれほど大きな差をもたらすか、同様のチャレンジをしてこられた学校と同様、飯南高校の生徒や卒業生は教えてくれます。ぜひ飯南飯高の地を訪ねていただきたく思います。ここまで成し遂げてこられた皆様に、改めて敬意を表したいと思います。

大正大学 地域創生学部  
地域創生学科 教授 / 浦崎太郎さん

募集停止や  
統合・廃校も  
現実的に



## 2年連続で入学者が20人未満 その後も増える見込みのない 場合は募集を停止される現実

1学年の生徒数が80名全校生徒240名の飯南高校は、三重県において1学年2学級以下の小規模校に分類されています。令和4年3月に策定された県立高等学校活性化計画では、「2年連続して入学者が20人に満たず、その後も増える見込みのない場合は募集を停止すること」とし、各地域の高等学校の学びと配置のあり方については、「1学年3学級以下の高等学校は統合についての協議も含めてそれぞれの地域の活性化協議会において協議すること」としています。近年、地域とともに飯南高校の活性化に向けて進めてきたにもかかわらず、募集停止や統合、廃校という現実が飯南高校にも降りかかってくる可能性がないとは言えなくなっています。

飯南・飯高地域の  
中学校3年生の生徒  
31名  
※令和11年度



## 飯南・飯高地域で 飯南高校に入学する生徒を 多数確保することは難しい

令和5年度の飯南・飯高地域の中学校3年生の生徒数は36名ですが、令和8年度に52名に増えるものの、その後は年々減少し、令和11年度には31名になります。このことから少子化が特に進む飯南・飯高地域で飯南高校に入学する生徒を多数確保することは難しくなっています。松阪地区においても令和5年度1,931名、令和8年度1,791名、令和11年度1,560名と年々減少していく見込みです。このようなことから飯南高校に入学する生徒も減少していくことが予想されます。少子化の流れは止めようがないものかもしれませんが、飯南高校は地域にとって必要な学校であり、これからも多くの生徒を育てていってほしいと願っています。

## より選ばれる高校として、魅力ある学校づくりを推進

飯南高校が選ばれる学校になるには充実した学びができる環境があることが必要です。学習プログラムやカリキュラムの充実、生徒の活動の活性化など、地域の生徒に選ばれる魅力ある学校づくりを進めていく必要があります。

## 飯南高校同窓会よりメッセージ



飯南高校とともに  
元気な地域を目指して

少子高齢化・過疎化が進むこの地域にとって飯南高校は大切な存在であり、宝物であります。飯南高校ではこの地域の課題と向き合い、日々探究活動を行い「元気な地域を目指して」地域との連携に積極的に取り組んでいます。どうか皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

飯南高校同窓会 会長 / 高橋 克良さん

## 下宿先のお母さんからの応援



飯南高校も地域も  
もっと元気にしたい！

優しい笑顔で毎朝あいさつしてくれる高校生と会うたび、地域が明るく元気になる気がしています。この地域を担う高校生たちの可能性を信じ、生徒一人ひとりの「やってみよう！」を地域みんなで応援できたら素敵だなと思います。これを機に皆様からの温かいご支援をぜひお願い申し上げます。

飯南高校下宿先のお母さん / 中村 豊子さん



地方留学を  
飯南・飯高でも充実させて  
地域×教育で新たな活路を！